

2. 住民自治・住民参加機能の充実

大都市としての一体性を維持しつつも、真に住民に必要なサービスを自らの責任で自主的かつ自立的に提供するため、**地域の実情に応じ、多様な形で住民自治・住民参加機能を充実させる仕組みの構築を進めていく。**

住民自治・住民参加機能を充実させる仕組みの事例

市政への市民参加

- ・ 区レベル、地域レベルで**協議会・会議等**を設置し、地域住民の意見を市政へ反映させる仕組みを構築
- ・ 地域課題を解決するため、地域住民から選ばれた**委員を中心に市予算の一部の用途を決定**
- ・ 学校運営に地域住民・保護者等が参画する仕組み（**学校運営協議会**）を構築

地域の課題解決に取り組む市民協働拠点としての区役所

- ・ **区役所の権限強化**（住民基本台帳、税などの窓口業務に加え、保健福祉・土木・産業振興等の権限も）
- ・ 区長が自らの判断と責任において執行する予算の拡大
- ・ 区役所、本庁と区役所間の連携に係る体制・人員強化

市民と行政の協働による公益活動促進

- ・ NPOや地域団体などからの提案に基づく協働事業の実施
- ・ 行政がセンターを設置し（全市レベル・地域レベル）、市民活動を総合的に支援